

頭與它頭同。天地之性廣肩無雄。龜鼈之類以它爲雄。象足甲尾之形。○中淮南子覽冥訓注。鼈大龜。文選吳都賦注。及列子湯問篇釋文引。玄中記云。鼈巨龜也。玄應音義引字林云。鼈海中大龜也。兼名苑以鼈爲龜一名。未知何據。說文無鼈字。古蓋只用放。放大也。本草和名龜甲。和名字美加女。與漢語抄合。

〔類聚名義抄〕十龜カメ

〔伊呂波字類抄〕字鼈ウミカメ

〔東雅鱗介〕龜カメ。日本紀私記に。龜兆傳を引て。天香山の龜津比女命。天孫この國に天降ります

時に。御前に立て降り來れり。今は天津詔戸太詔戸命といふ。これ我國龜卜の事の始なりと見えたり。倭名鈔にも。神龜の字讀てカメといふ。さらばカメとは。カミといふ語の轉じたるなり。(中略)

カメといふに。よりて。又凡そ甲殼ある物を呼びて。カといひしと見えけり。甲は讀てカアラといひ。殼は讀てカラといふなり。又甲の字をカフといふは。韓地の方言也。即今も朝鮮の方言かくの如し。たまへるなり。○

〔新撰字鏡〕龜カメ 鼈ウミカメ

〔本草和名〕十六龜カメ 秦龜カメ 中龜カメ 不入水カメ 山カメ 鶯龜カメ 食蛇カメ 出カメ 一名呬蛇龜カメ 秦カメ 一名蟬蟻カメ 仁カメ 譚カメ 上カメ 音カメ 紫カメ 禰カメ 反カメ 下カメ 余カメ 規カメ 和

名以之加女。

〔倭名類聚抄〕十九秦龜カメ 本草云。秦龜一名蟬蟻カメ 名カメ 伊カメ 之カメ 加カメ 米カメ 陶隱居注云。此山中龜也。

〔箋注倭名類聚抄〕八千金翼方證類本草上品有秦龜。不載一名。證類本草引唐本注云。秦龜卽蟬

蟻。本草和名亦云。一名蟬蟻。出蘇敬注。此所云一名。蓋從本草和名引之。非本草正文也。說文云。蜚一

曰蜚蟬也。又云。蟬大龜也。爾雅。靈龜。郭璞曰。涪陵郡出大龜。甲可以卜。緣中文似。瑋瑋。俗呼爲靈龜。卽

今蜚蟬龜。一名靈蟬。能鳴。揚雄傳上靈龜注。雄曰。毒冒。雌曰。蜚蟬。漢書禮樂志注引晉灼曰。蟬。蜚蟬龜

屬也。東山經。跋踵之山有水焉。廣員四十里。皆涌。其名曰深澤。其中多蟬龜。郭注。蟬。蜚蟬。大龜也。甲有

龜種類
秦龜